

のぼりん 通信

2021年8月号

2021年7月20日発行

8月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

9月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

●登録団体数 121 団体 (2021年6月末現在)

○… 休館日

※イベントについては、7月20日現在の情報を掲載しています。

コロナ感染症対策として実施を見合わせ、延期または中止する場合があります。

のぼりんのイベント

市民活動パワーアップ講座

団体活動を動画にして発信しませんか
お手持ちの画像を使って作ります～



日時 8月10日(火)基本編、8月23日(月)実践編
時間 13:30-15:00
定員 5団体(1団体2名まで)
対象 市民活動の運営に関わられている方、
これから立ち上げを考えている方
内容 基本編 動画の編集作業を行います
実践編 動画の編集・仕上げます
持ち物 パソコン(申込み時に必要事項をお尋ねします)
参加費 無料

登録団体掲示板

■ 琴と三味線の体験

日時 8月29日(日)
10:00-12:00
内容 琴と三味線の体験
定員 3名(申込み順)
対象 どなたでも
参加料 無料
主催 鈴の会
問合せ 山口さん(85-3459)



通信に掲載する記事を募集しています。

【9月号】9/15～10/15の情報

掲載ご希望の方は、8月5日までに、
のぼりんスタッフまでお声かけください。

のぼりん文化講座

神経を集中させ筆をはしらせ、
やさしい文字を書いてみませんか

日時 8月20日(金)
時間 10:00-12:00
講師 成田 成峰さん
定員 10名(申込み順)
対象 18歳以上
持ち物 硯、墨液、筆(大小)、
文鎮、下敷き、半紙、新聞紙
参加費 無料



初心者書道教室

土にさわることは全身運動にもなります
陶芸始めてみませんか?

日時 8月21日(土)
時間 9:30-12:30
講師 佐藤 彰さん
定員 10名(申込み順)
対象 18歳以上
持ち物 なし
参加費 1,000円(材料代)



陶芸教室

和製エアロビクスともいわれ楽しい
粋な踊りを体験します

日時 8月23日(月)
時間 13:30-15:30
講師 櫻川 悠有さん
定員 10名(申込み順)
対象 どなたでも
持ち物 動きやすい服装、日本手ぬぐい
参加費 無料



乾燥させた葉の形や
色を生かし絵画を表現できます

日時 8月27日(金)
時間 10:00-12:00
講師 高野 恵子さん
定員 10名(申込み順)
対象 18歳以上
持ち物 お手拭き
参加費 1,000円(材料代)



葉画教室

のぼりんの様子

活動報告

のぼりんサポーター チーム活動 Localizenetwork



6月17日(木) 19:30-21:00

ZOOMを通して①勝間広靖さんの新たな挑戦「キッチンカー導入へ」②登別の写真家:志賀俊哉さんの「登別のいいところ」について写真を見ながらお話を聞かせて頂きました。

当日は、一平のごはんを食べました。



活動報告

NPO法人色彩生涯教育協会認定校 カラススクールフィレイロ主催 60代からの色活講座 6月26日(土)10:00-12:00 1階サロン

衣食住を通して「色」を楽しみ、新しい生活様式となったマスクの色選びにも役立つ講座となりました。



【団体紹介】

社会教育の推進を図る活動
色彩活動

☎090-3019-3516 (小岡さん)



活動報告

のぼりん主催 のぼりん通信2020年展

4月12日(月)~7月19日(月)まで1階サロンスペースにてのぼりんで毎月発行している「のぼりん通信2020年度分」を掲示しました。



最近の“のぼりん”



入口正面のサイネージで
のぼりんのYoutubeを
放映しています



1階サロンのパンフレット・
リーフレットをバックナンバー
をファイリングし、見やすく
整理しました。
いつでもご自由にお持ち帰
りください



入口横のベジトラグにお花が
増えました。様々な種類のお花
を植えています





まちライブラリー代表 武者正樹さん

プロフィール

登別出身

本業は理容師

「スタジオメンズ」を家族とともに経営

趣味は水泳と読書。最近ハマっている本は、『メモの魔力』（著者：前田祐二）

どんなに忙しくてもメモをとるやり方を実践している。

どのような活動をしていますか？

だれでもどこでもまちの中で小さい図書館をつくっちゃおうという活動をしています。

感想を書いたメッセージカードをそえて本を持ち寄り、次に読んだ人も同じように感想を書いていきます。そうして一つの本を通して町の中で知らない人同士がつながっていき、新たな出会いや、コミュニティを生み出すのが“まちライブラリー”です。

活動を始めたきっかけは？

「どうしてこんなにもネットやスマホに依存しないとならないのか。」「この町で暮らしていくためにまず何をすべきなんだろう。」と昔から社会や世の中への不満、違和感、疑問を感じていました。

子どもが生まれてさらに「子どもたちの将来のために親として何か出来る事があるんじゃないか」このままでいいのだろうかと感じました。

ある日、一冊の絵本「世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ」と出会ったことが自分を変えるきっかけになりました。社会は変えられないけど、小さな社会なら何か出来るのではと思いました。

それから、「まちにとって良い事、みんなにとって良い事はなんだろう、簡単に町のみんなの声が聴ける仕組みはないだろうか。」と模索していたところ、テレビのニュースで見た、千歳市のまちライブラリーに行き、まちライブラリーを行っている人達と話して、「これだ！」と思い始めました。

「やっていた良かった。」と思う事はありますか？

まちライブラリーを始めて新しい出会いがたくさんあり、現在は、一緒に悩んでくれる仲間がいて、アドバイスをくれる人がいて、ましてや僕を必要としてくれる人もいて、今では夢が半分叶っているというか以前から比べるとキセキのような経験をさせてもらっています。

現在の課題があれば教えて下さい。

登別市に設置した8カ所のうち2カ所思う様にスタート出来てない所があります。コロナウィルスの影響で子どもスペースを縮小した所もあります。

また、それぞれのスポットの熱量に差が出ており、自分自身も常に、何が正解なのかと悩んでいますが、その場所ごとに様々なやり方で無理なく出来るのがまちライブラリーなのでゆくゆく長くやっていきたいです。

